



福祉総合演習 I

身近な生活と福祉

第2回

clear

visual

simple

bilingual

* 日本語がむずかしいときは、短いことばでも大丈夫です。
キーワードだけでもいいです。英語を少し使っても大丈夫です。

今日のながれ

前半 30分

- ・ 前回のふりかえり
- ・ 身近な生活と福祉
- ・ 福祉を考える3つのポイント

中盤 25分

- ・ 生活場面を考える
- ・ 一人で考える
- ・ グループで話す

後半 30分

- ・ グループ発表
- ・ 先生のまとめ
- ・ ふりかえり

ポイント：生活の中の「困りごと」 → 「必要なこと」 → 「相談できる人・場所」を考えます。

今日の目標：まちの中にある福祉を見つける／だれのための工夫かを考える／なぜ必要かを話す

前回のふりかえり

福祉 = 困ったときに人を支えること

福祉は特別な人だけではない

「問題・必要・相談」の3つが大切

今日は、この3つの見方を使って「身近な生活」の中の福祉を考えます。

身近な生活と福祉

daily life & welfare

福祉は、毎日の生活と関係があります。

病気の時

お金がない時

子どもを育てるとき

家族の介護がある時

日本語がわからない時

ひとりで不安な時

大切なこと

生活の中の困りごとを見つけること
→ それが福祉の入口です。

どんなことが「困りごと」ですか

体のこと

- ・ 病気
- ・ けが
- ・ つかれ

お金のこと

- ・ 生活費
- ・ 家賃
- ・ 学費

家族・仕事

- ・ 子育て
- ・ 介護
- ・ アルバイト

学校・ことば

- ・ 授業
- ・ 手紙
- ・ 日本語

福祉を考える3つのポイント

① 何が問題ですか
problem

② 何が必要ですか
support needed

③ だれに相談できますか
who / where to ask

今日もこの3つで考えます。

身近な生活と福祉

daily life & welfare

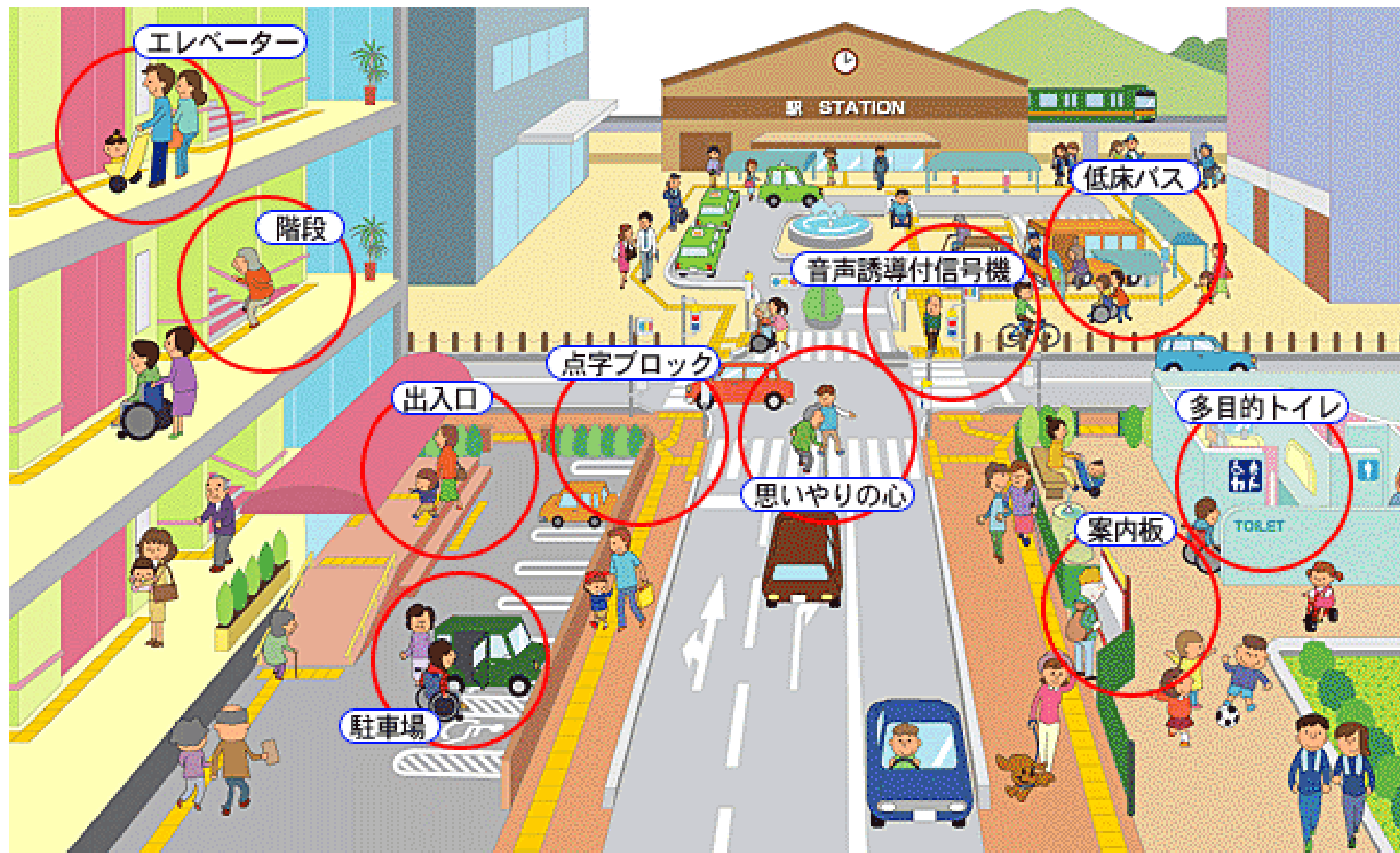
まちの中にも福祉があります

- 出入口 / entrance
- 多目的トイレ / accessible toilet
- 低床バス / low-floor bus
- 音声信号 / audible traffic signal
- 点字ブロック / tactile paving
- 思いやりの心 / kindness

福祉は制度だけではありません。

設備・工夫・思いやりも、福祉の一部です。





エレベーター

階段

駅 STATION

低床バス

音声誘導付信号機

点字ブロック

出入口

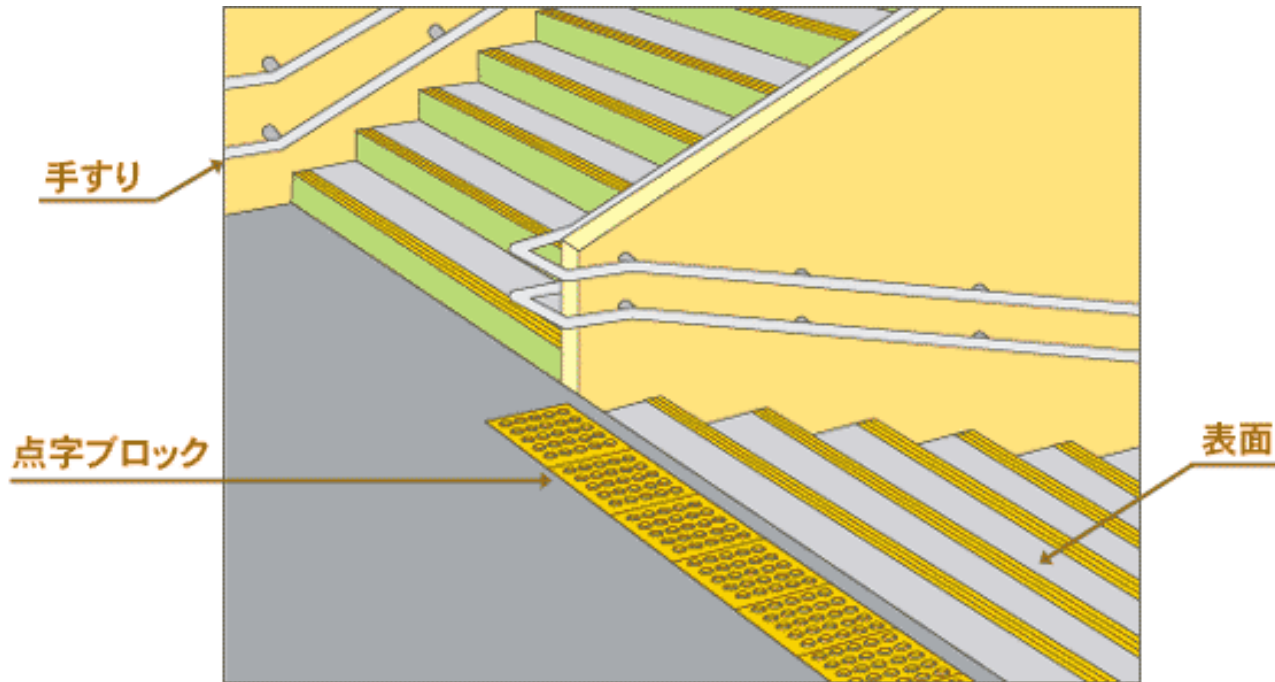
思いやりの心

多目的トイレ

案内板

駐車場

生活場面① 出入口



考えること

- 段差があると、だれが困りますか
- 車いすの人はどうですか
- ベビーカーはどうですか

例1 出入口 / entrance

どんな困りごと？

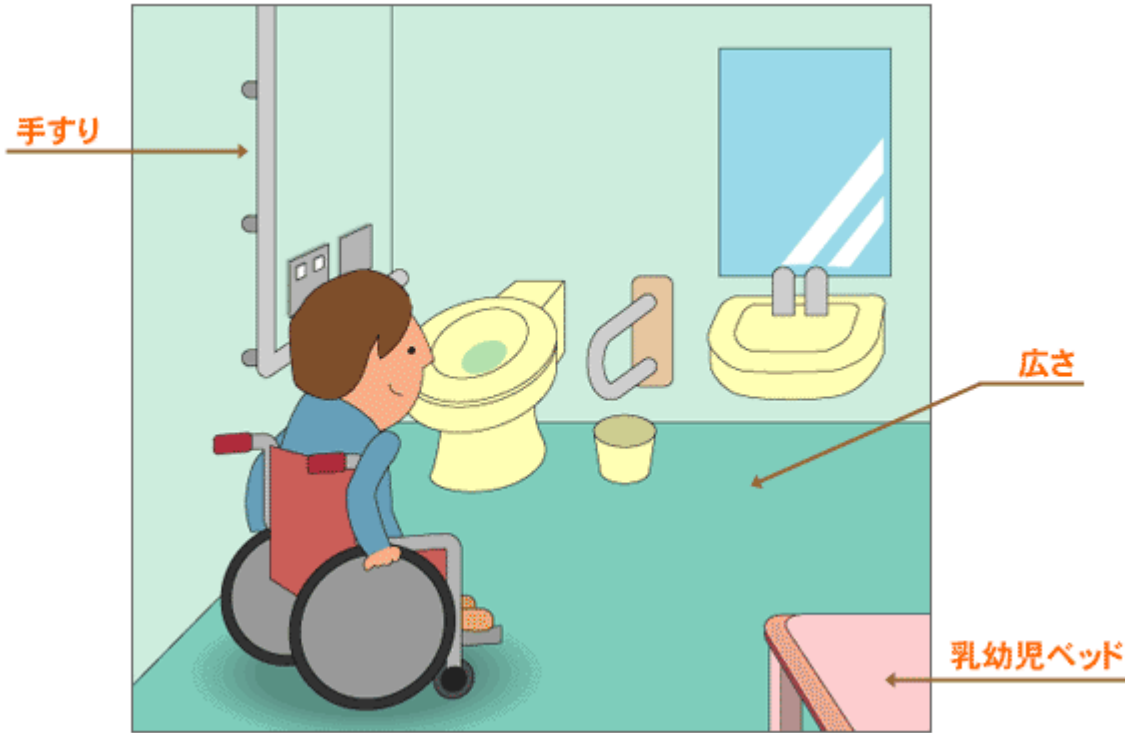
- 段差があると、車いすの人は入りにくい
- 幅がせまいと、ベビーカーや荷物が多い人も通りにくい

どう役に立つ？

- スロープがあると、入りやすい
- 広い出入口だと、安全に通りやすい

だれのため？ → 車いすの人、ベビーカーの人、高齢者、けがをした人

生活場面② 多目的トイレ



考えること

- だれに必要ですか
- なぜ広いトイレが必要ですか

例2 多目的トイレ / accessible toilet

どんな困りごと？

- せまいトイレは、車いすの人や介助が必要な人に使いにくい
- 赤ちゃん連れの人にも困ることがある

どう役に立つ？

- 広いスペースがあると使いやすい
- 手すりや設備があると安心して使える

だれのため？ → 障害のある人、高齢者、赤ちゃん連れの人 など

生活場面③ 低床バス



考えること

- 高齢者にとって、乗りやすいですか
- ベビーカーや荷物が多い人にも役に立ちますか

例3 低床バス / low-floor bus

どんな困りごと？

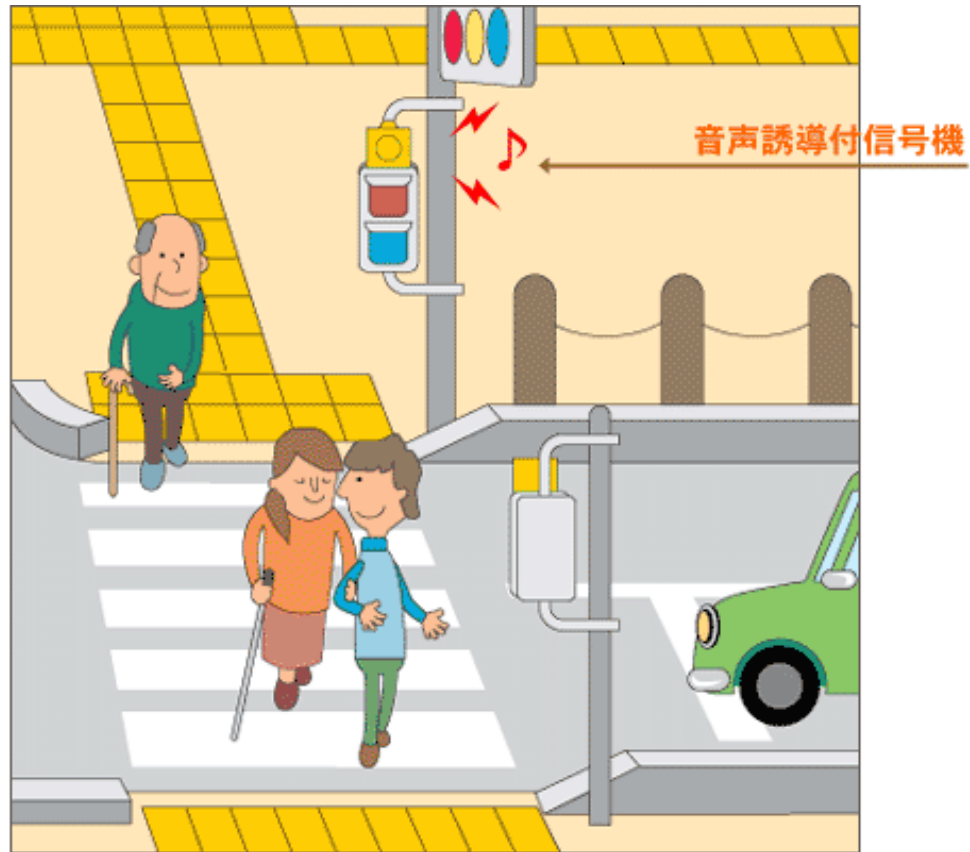
- 段差が高いと、乗り降りが大変
- 高齢者、車いすの人、ベビーカーの人は困りやすい

どう役に立つ？

- 床が低いと、乗り降りしやすい
- 移動しやすくなり、外出の安心につながる

だれのため？ → 高齢者、障害のある人、子ども連れの人、荷物の多い人

生活場面④ 音声誘導装置付信号機



考えること

- 目が見えにくい人には、
どう役に立ちますか

例4 音声誘導装置付信号機 / audible traffic signal

どんな困りごと？

- 目が見えにくい人は、信号が変わったことがわかりにくい
- 交差点は危険が大きい

どう役に立つ？

- 音があると、渡るタイミングがわかる
- 安心して道路を渡りやすい

だれのため？ → 視覚障害のある人、高齢者 など

見つけてみよう：まちの中の福祉

グループで1~2つ選んで考えましょう。

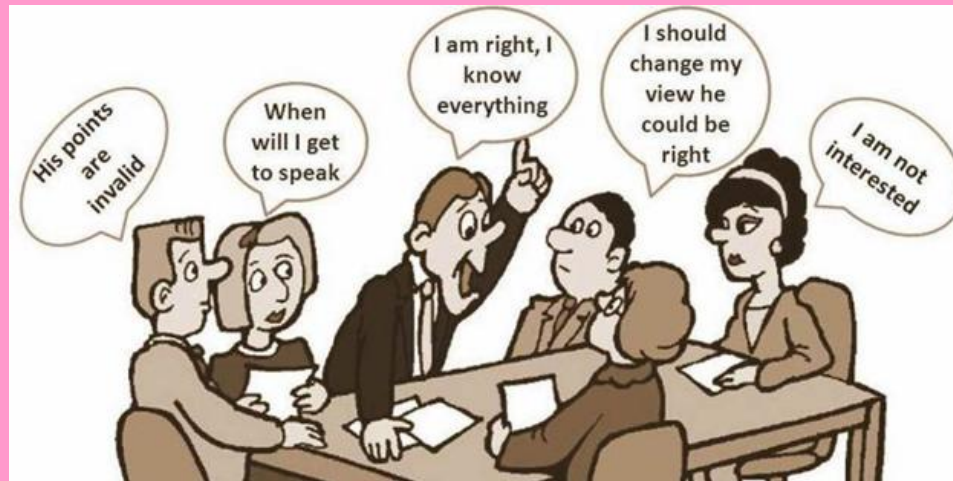
例	だれのため？	どんな困りごと？	どう役に立つ？
出入口			
多目的トイレ			
低床バス			
音声信号			
点字ブロック			

書くのは短いことばでOKです。

Group Discussion グループディスカッション

グループディスカッションとは

- ・一つのテーマについて、グループで話し合うこと
- ・自分の意見を言う
- ・人の意見を聞く
- ・最後にグループの考えをまとめる



The Rule of Group Discussion

- ・一人ずつ話します人の話を最後まで聞きます。
- ・わからないときは聞いてもいいです。
- ・全員、一回は話します。
- ・最後にグループの意見をまとめます。
- ・グループの意見を皆に発表する⇒Presentation

福祉研究科 20人=4人*5組

役割

Aさん：司会
Bさん：記録
Cさん：発表
Dさん：時間

使えることば

私は～と思います。理由は～です。
〇〇さんはどう思いますか。
もう一度お願いします。
私たちのグループでは～



話し合いの進め方

1分

一人で考える

8分

グループで話す

3分

意見をまとめる

8分

グループ発表

5分

先生のコメント

発表のしかた

私たちのグループでは、
「」が問題だと考えました。
必要なことは、「」です。
相談できる人・場所は、「」です。

短くてよい

同じ言葉を使ってよい

キーワードだけでもよい

今日のまとめ

福祉は生活の中にある

困りごとは人によって違う

「問題・必要・相談」の3つで考えることが大切

福祉はみんなの生活と関係する

ふりかえり

1. 今日わかったこと
2. むずかしかったこと
3. 身近な生活の中で気づいたこと